

令和7年度研修医アンケート 結果報告

目 的：本学が設定した卒業時到達目標（卒業時コンピテンス）に照らして、卒業生の研修状況を把握し、今後の教育改善につなげる。

実施日：2026年1月20日～2月6日

対象者：令和6年度卒業生のうち、アンケート実施同意者81名

回 答：回答者38名（回答率：46.9%）

設 問：卒業時到達度目標について

- A 現在の仕事での重要度
- B 現在の到達度
- C 大学時代に身についた程度
- D 教育プログラムの評価

A 現在の仕事での重要度（各項目「重要」と回答した割合）（%）

	とても重要	ある程度重要	合計
I プロフェッショナリズム	68.9	30.7	99.6
II コミュニケーション能力	71.6	28.4	100.0
III 医学と関連領域の知識	62.5	34.9	97.4
IV 医療の実践	63.2	36.5	99.6
V グローバル化する社会及び国際社会への貢献	41.7	46.2	88.0
VI 研究マインドの育成	42.1	49.1	91.2

B 現在の到達度（各項目「できる」と回答した割合）（%）

	十分できる	ある程度できる	合計
I プロフェッショナリズム	30.7	66.2	96.9
II コミュニケーション能力	31.6	66.8	98.4
III 医学と関連領域の知識	17.8	64.5	82.2
IV 医療の実践	20.3	66.2	86.5
V グローバル化する社会及び国際社会への貢献	16.2	50.4	66.5
VI 研究マインドの育成	16.7	54.4	71.1

C 大学時代に身についた程度（各項目「身についた」と回答した割合）（%）

	十分できる	ある程度できる	合計
I プロフェッショナリズム	31.6	57.9	89.5
II コミュニケーション能力	33.2	56.8	90.0
III 医学と関連領域の知識	19.7	63.8	83.6
IV 医療の実践	19.9	57.1	77.1
V グローバル化する社会及び国際社会への貢献	19.5	44.0	63.5
VI 研究マインドの育成	20.2	43.9	64.0

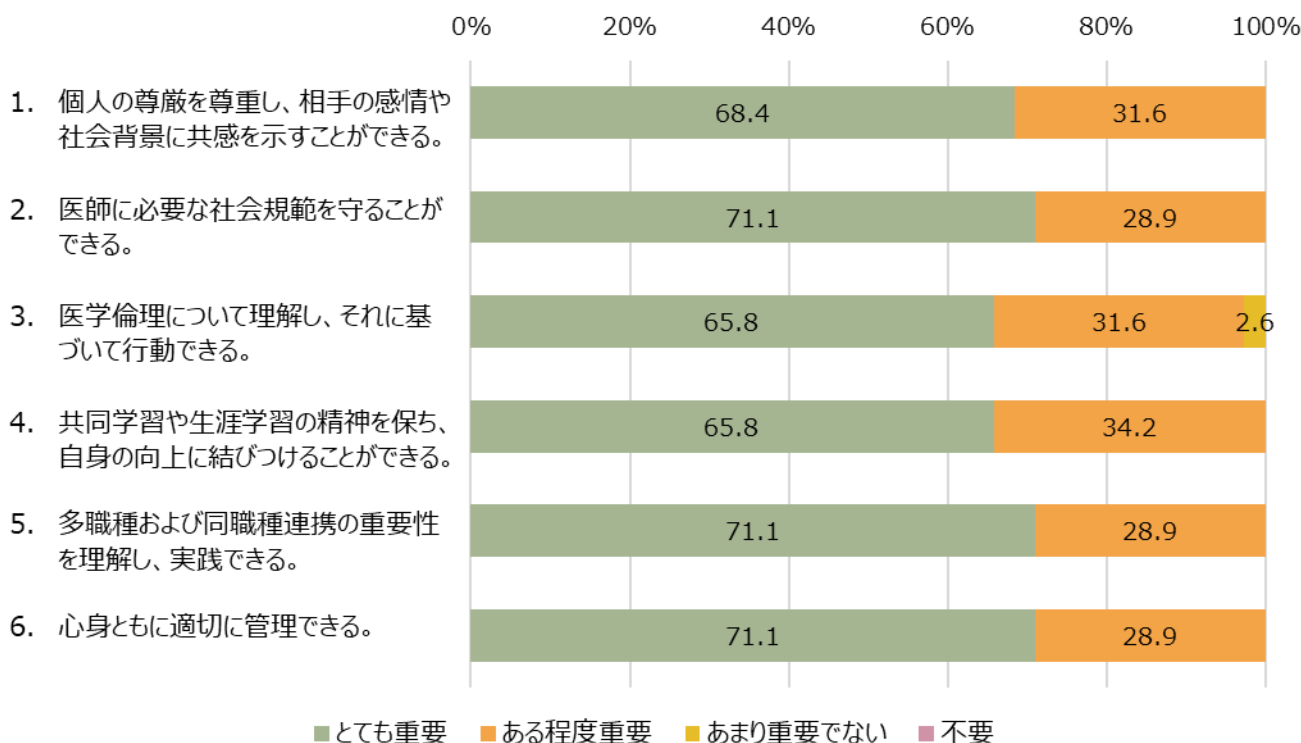
D 教育プログラム評価（各項目「適切である」と回答した割合）（%）

	適切である	まあ適切である	合計
I プロフェッショナリズム	36.8	39.5	76.3
II コミュニケーション能力	36.8	39.5	76.3
III 医学と関連領域の知識	31.6	47.4	78.9
IV 医療の実践	31.6	47.4	78.9
V グローバル化する社会及び国際社会への貢献	28.9	28.9	57.9
VI 研究マインドの育成	23.7	39.5	63.2

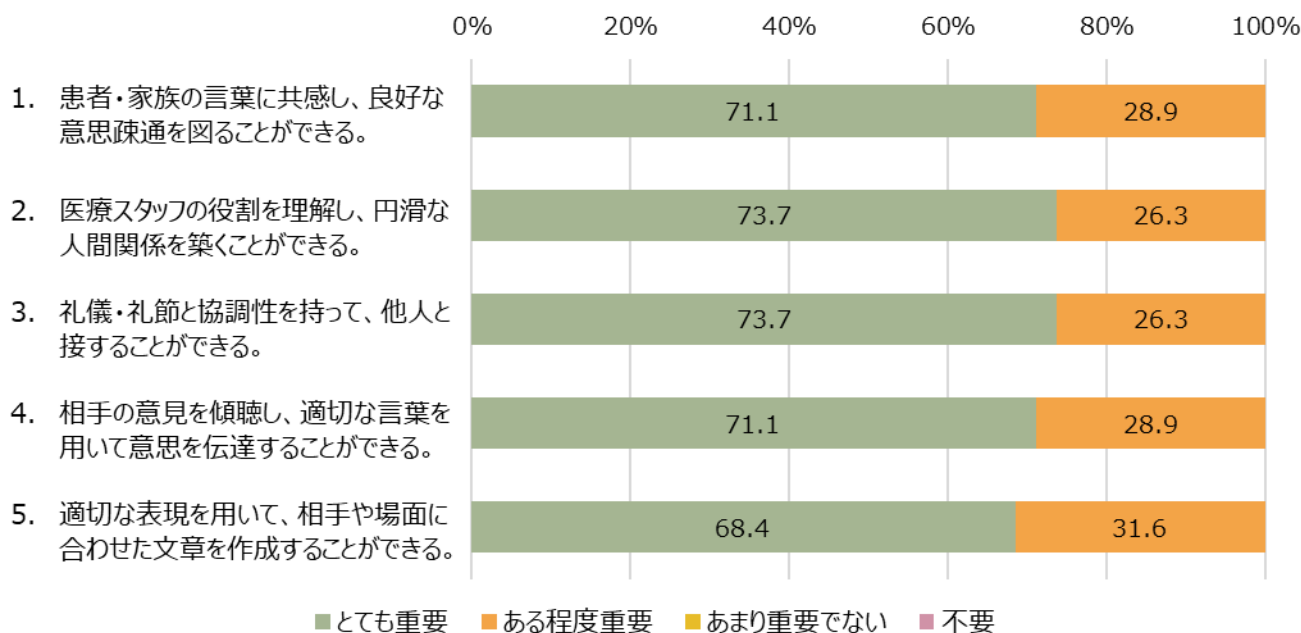
設問A. コンピテンス・コンピテンシー到達度調査

以下の卒業時到達目標の、**現在の仕事での重要度**を教えてください。

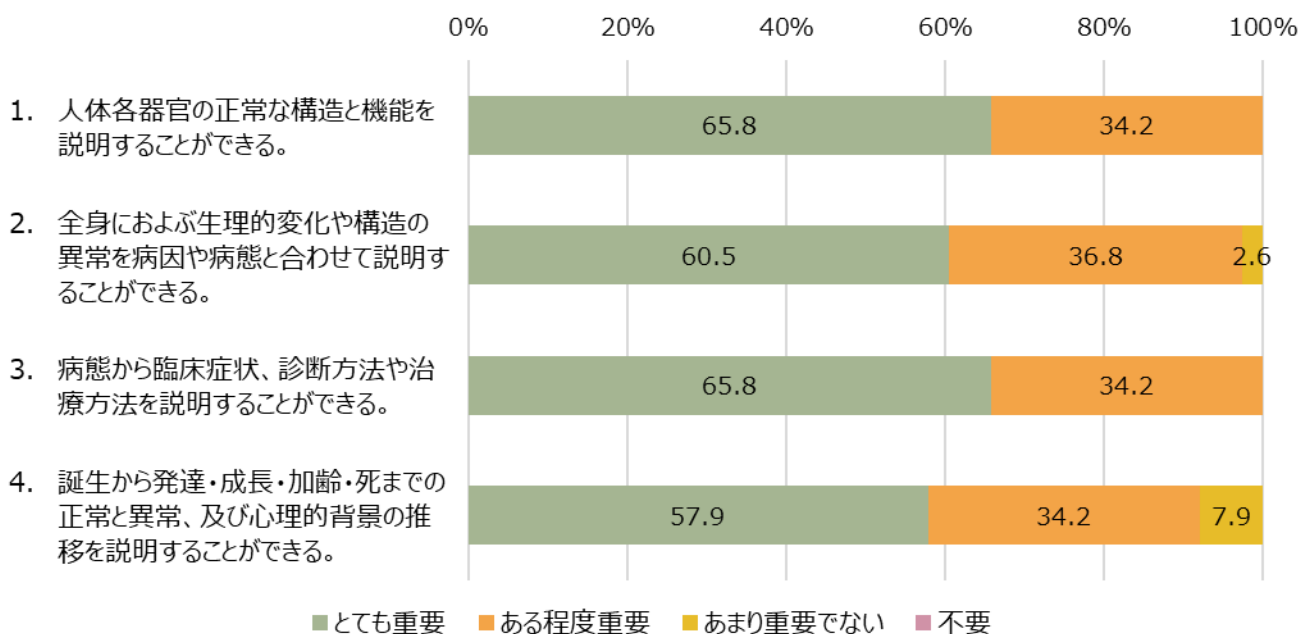
A-I. プロフェッショナリズム



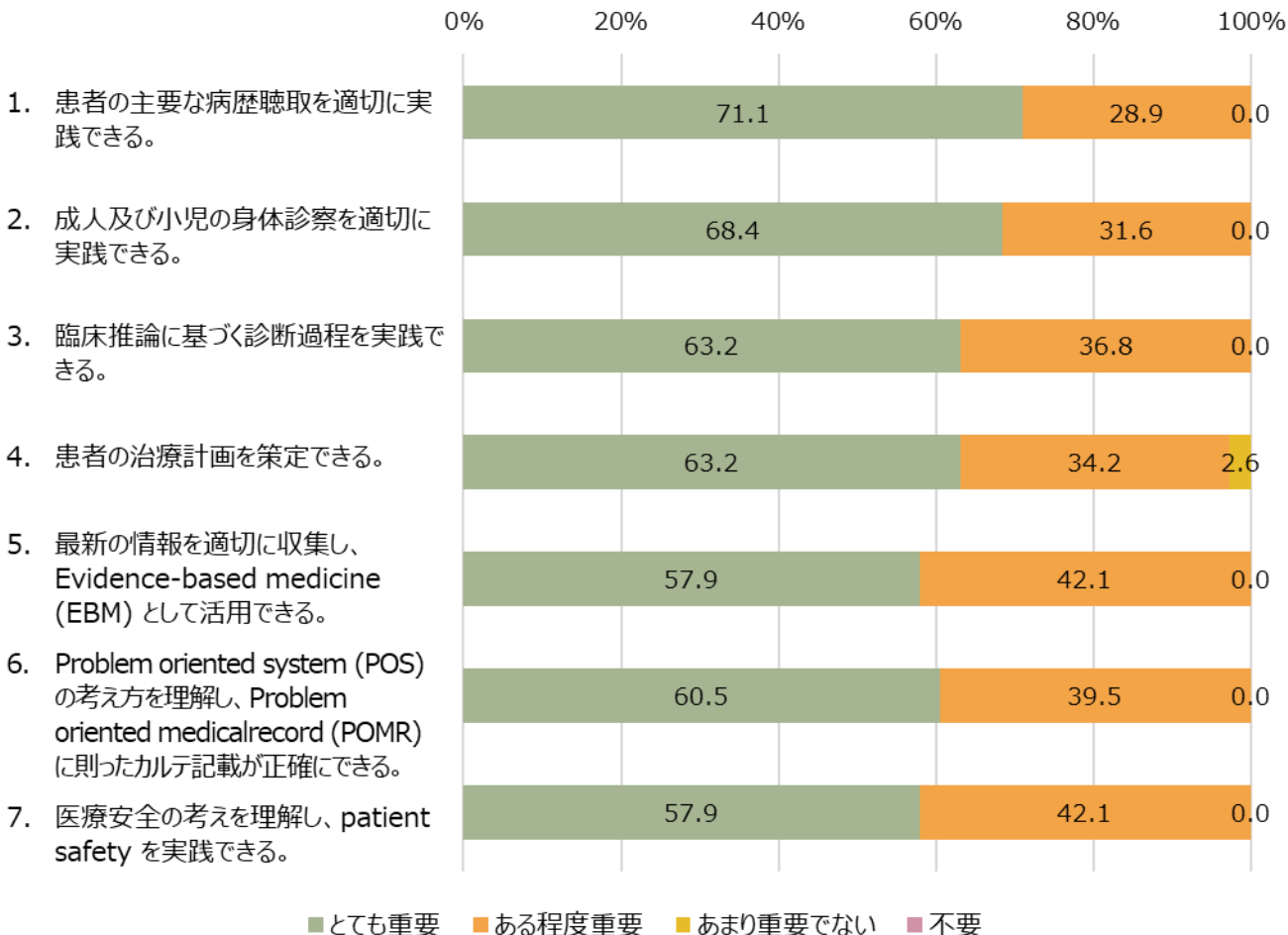
A-II. コミュニケーション能力



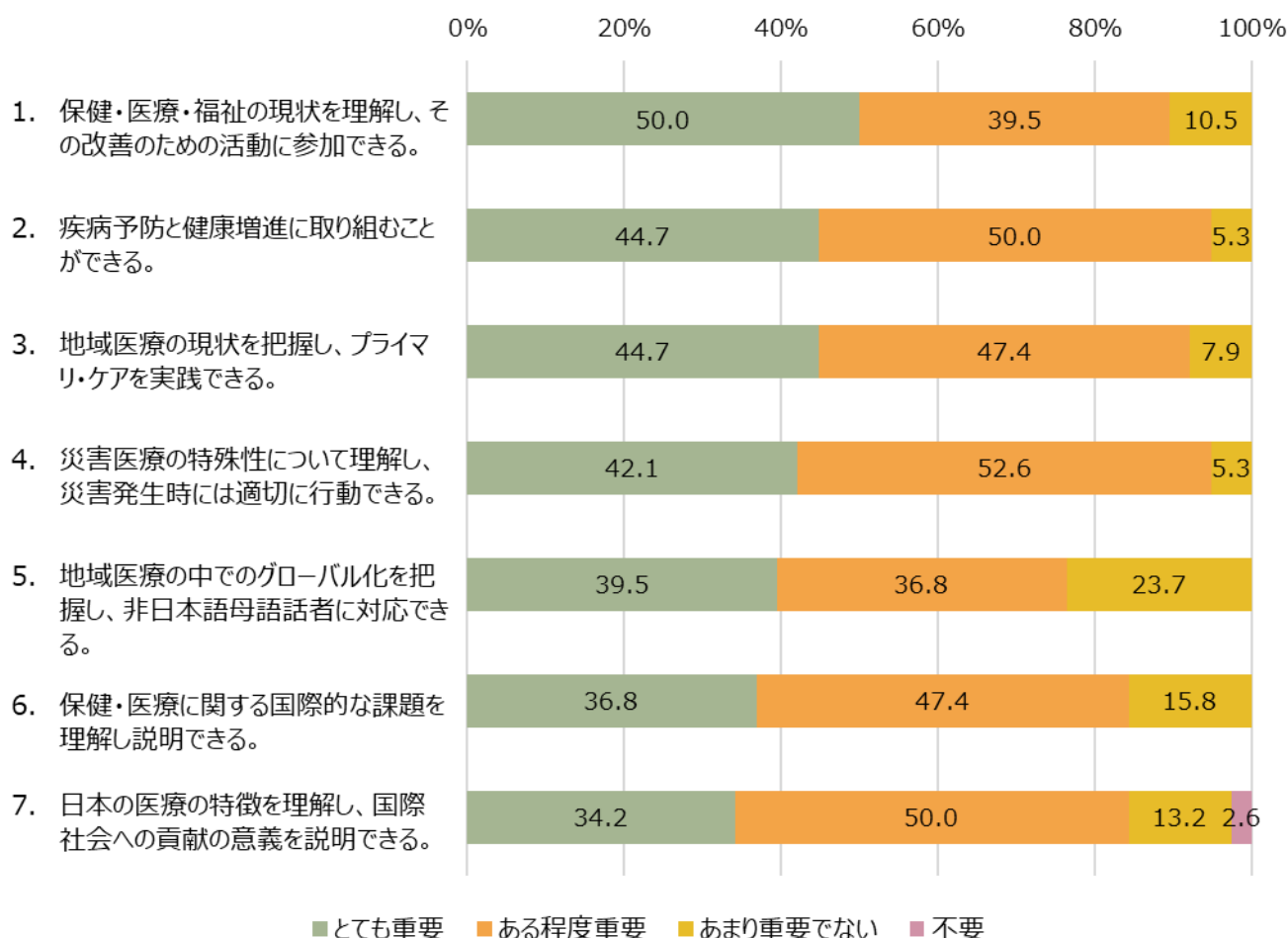
A-Ⅲ. 医学と関連領域の知識



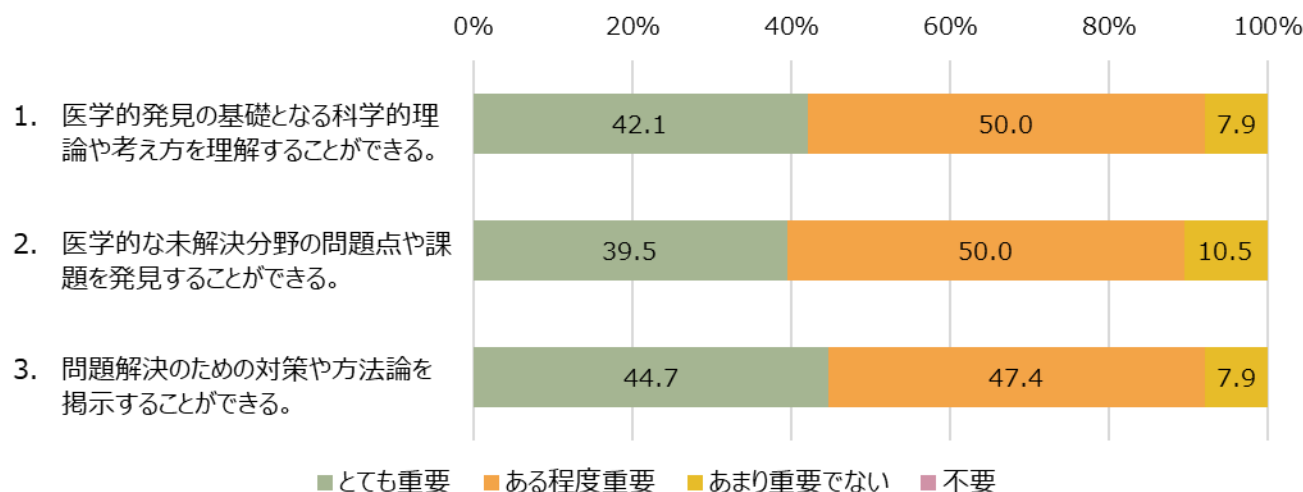
A-Ⅳ. 医療の実践



A-V. グローバル化する社会及び国際社会への貢献



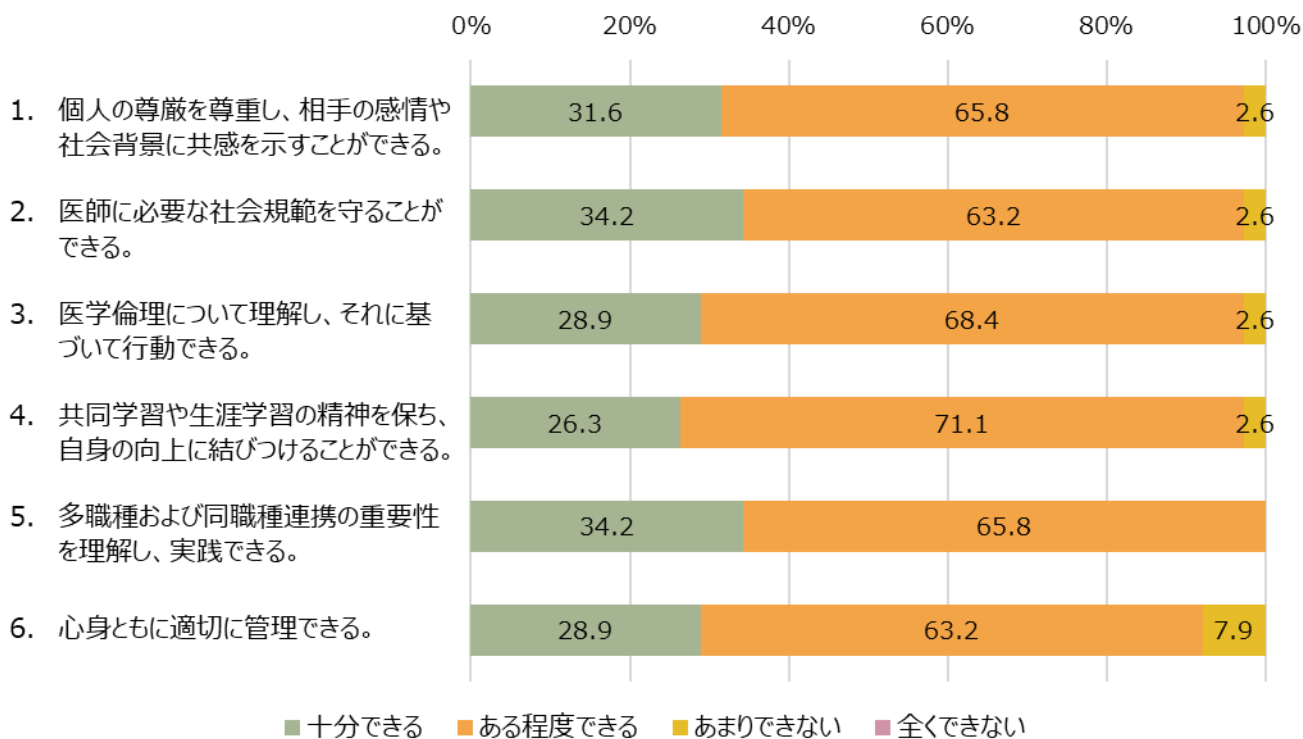
A-VI. 研究マインドの育成



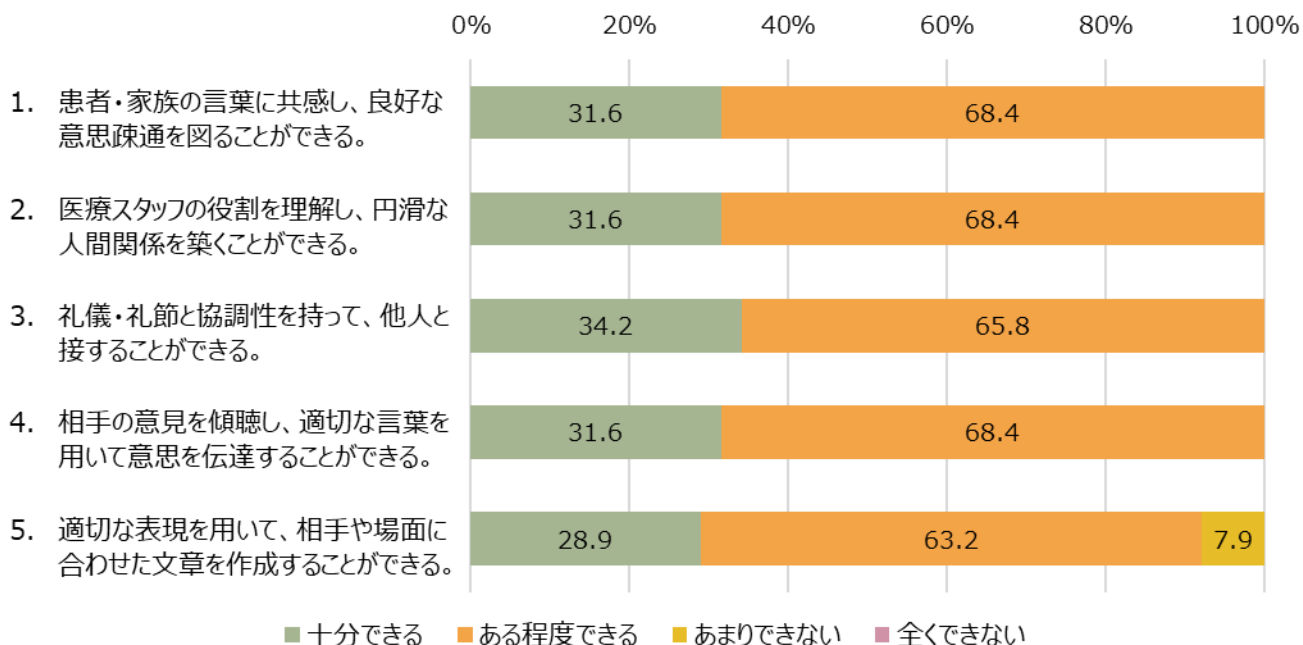
設問B. コンピテンス・コンピテンシー到達度調査

以下の卒業時到達目標の、**現在の到達度**を教えてください。

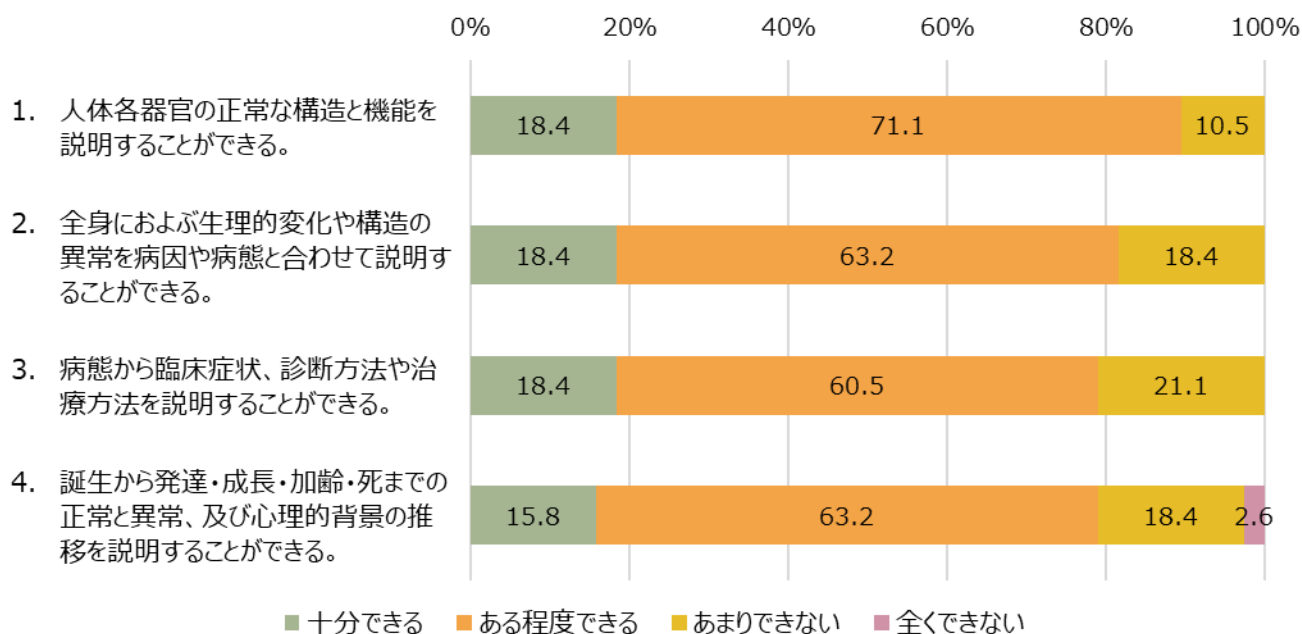
B-Ⅰ. プロフェッショナリズム



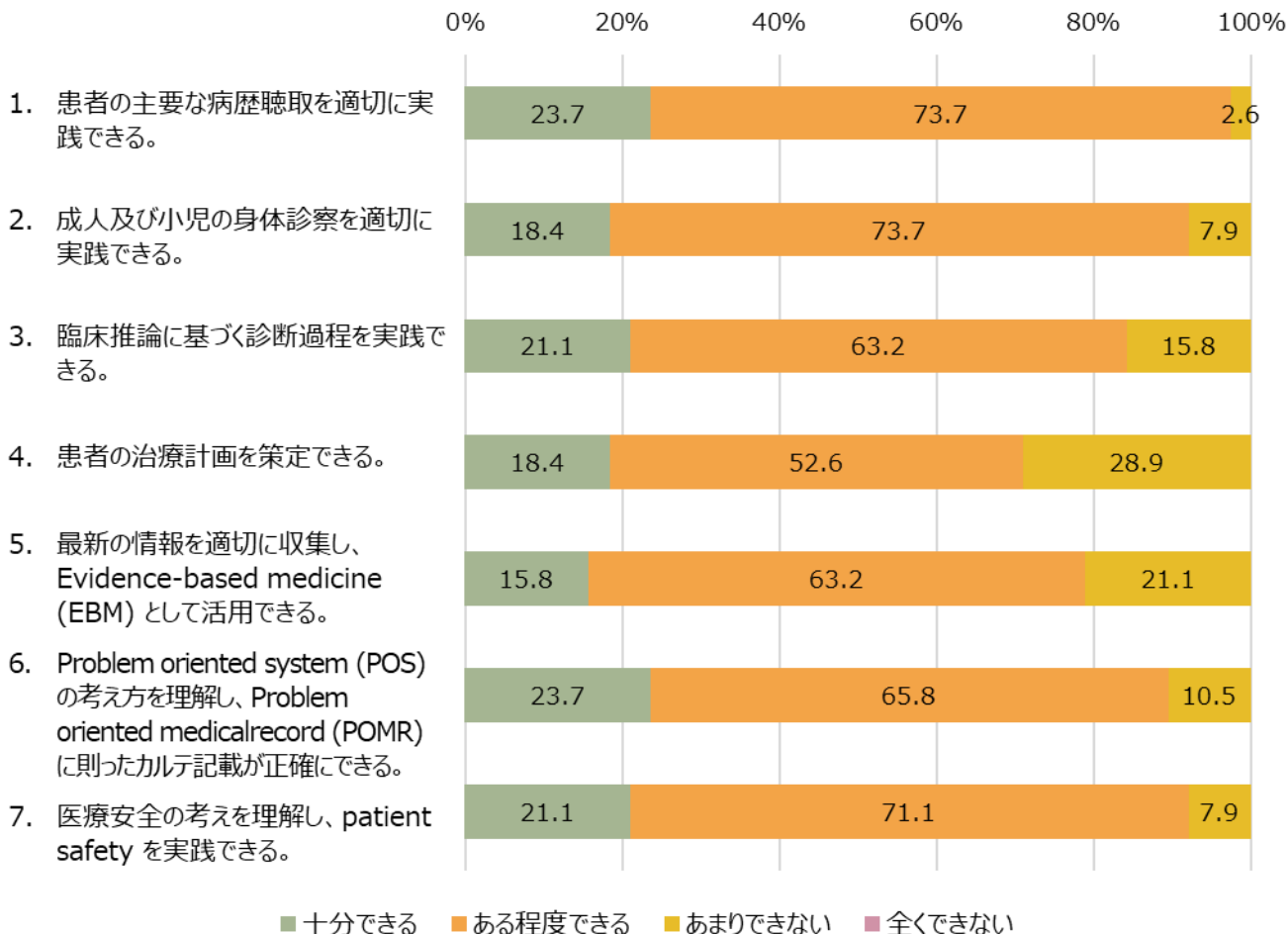
B-Ⅱ. コミュニケーション能力



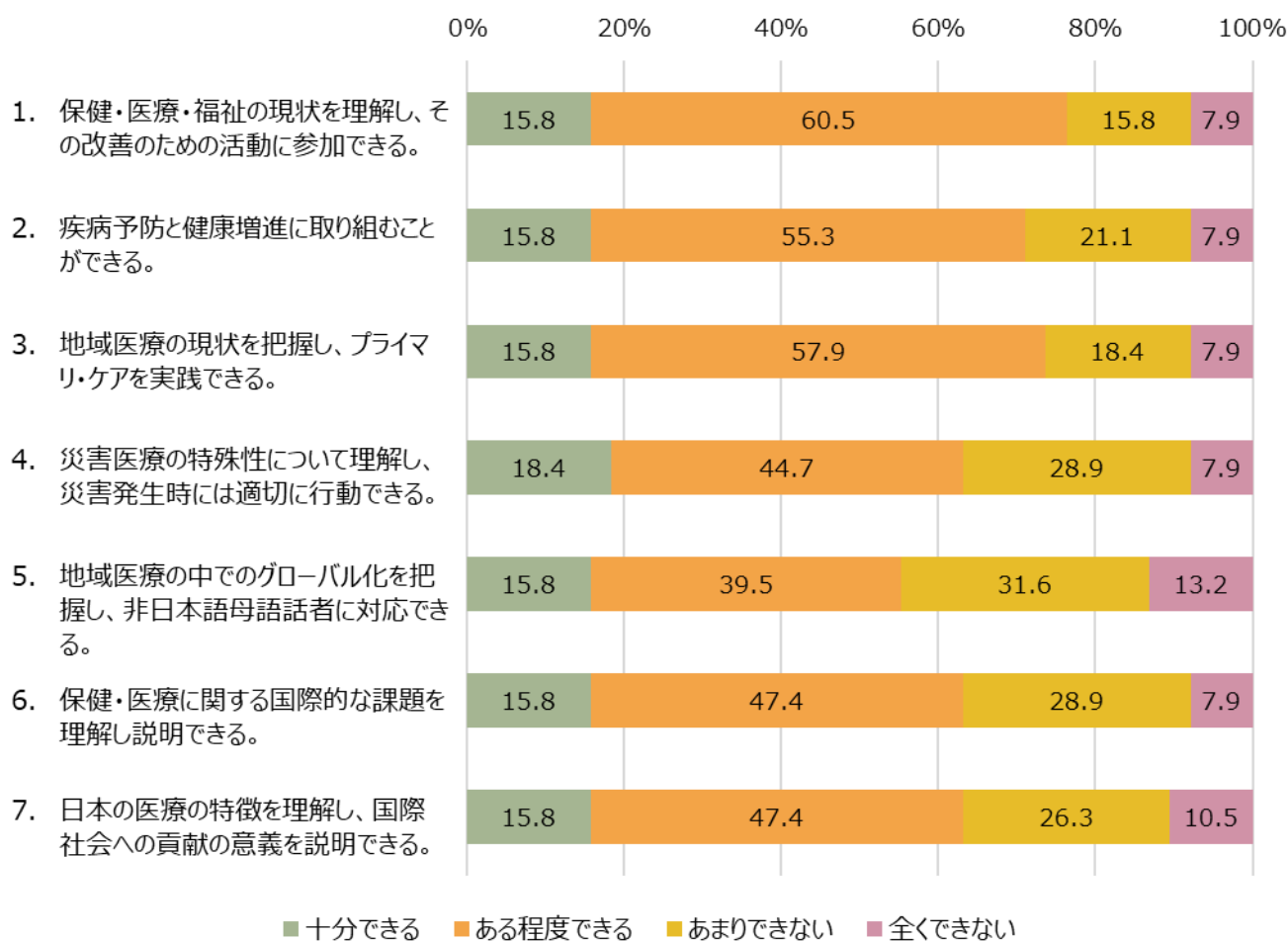
B-Ⅲ. 医学と関連領域の知識



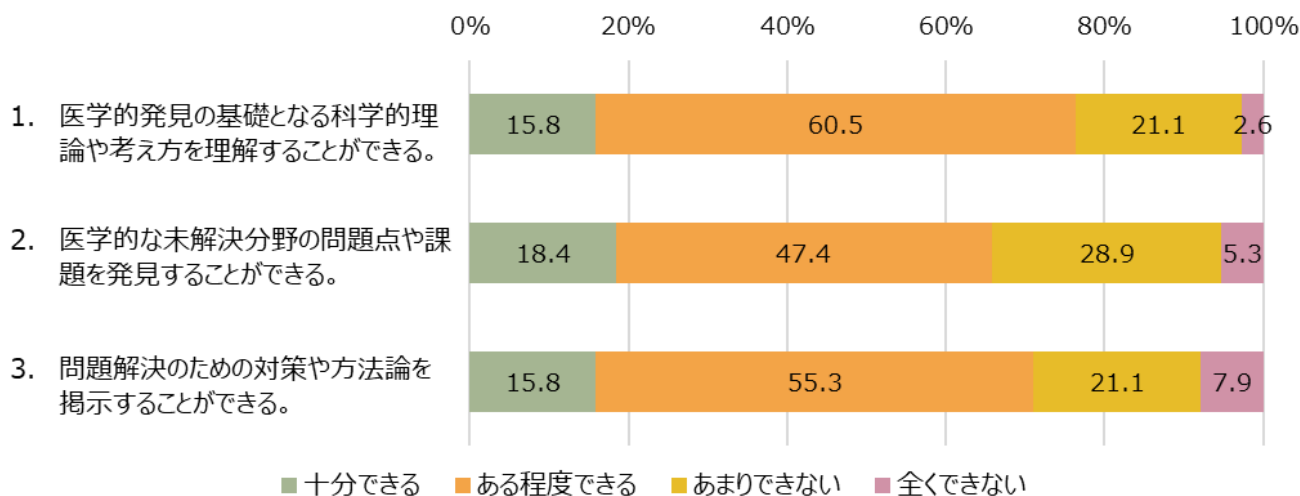
B-Ⅳ. 医療の実践



B-V. グローバル化する社会及び国際社会への貢献



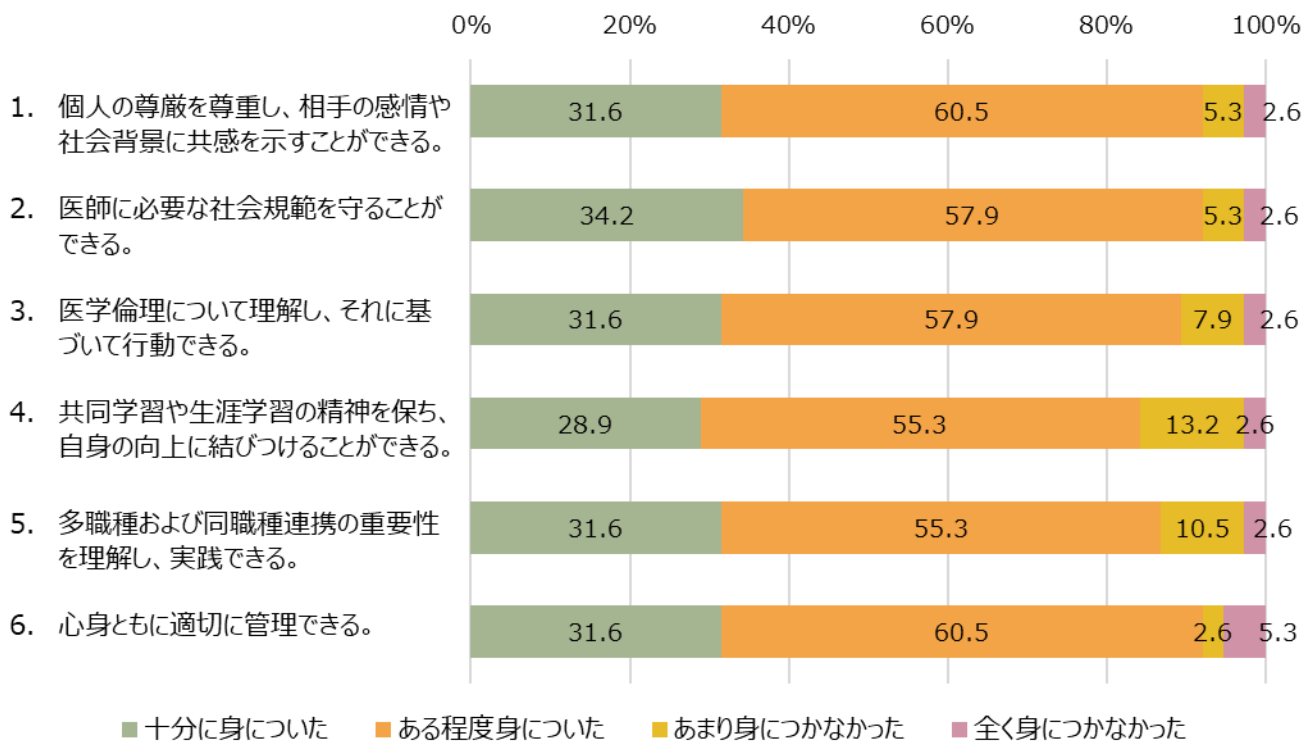
B-VI. 研究マインドの育成



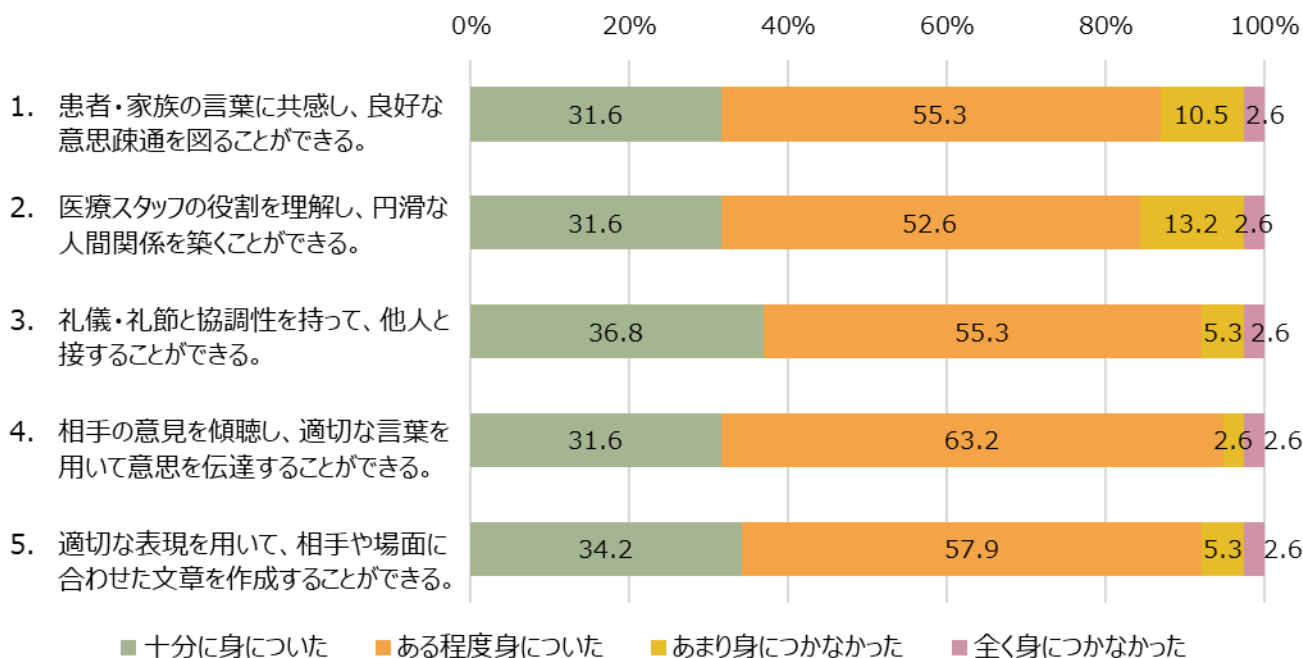
設問C. コンピテンス・コンピテンシー到達度調査

以下の卒業時到達目標の、**大学時代に身についた程度**を教えてください。

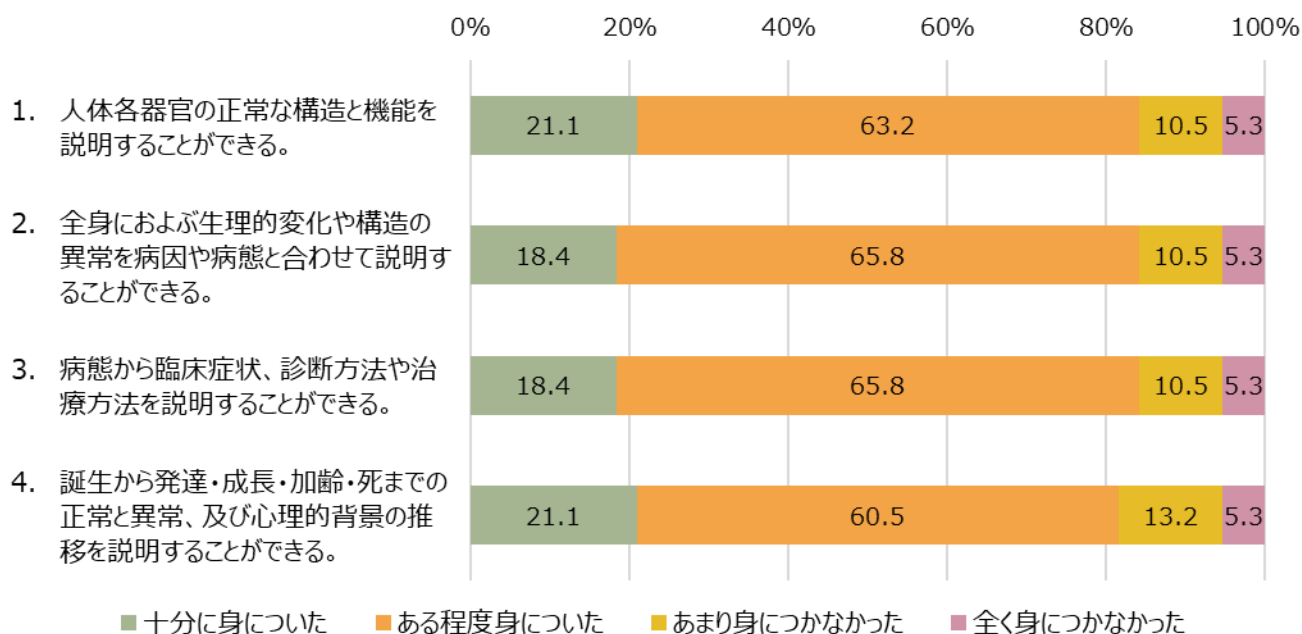
C-I. プロフェッショナリズム



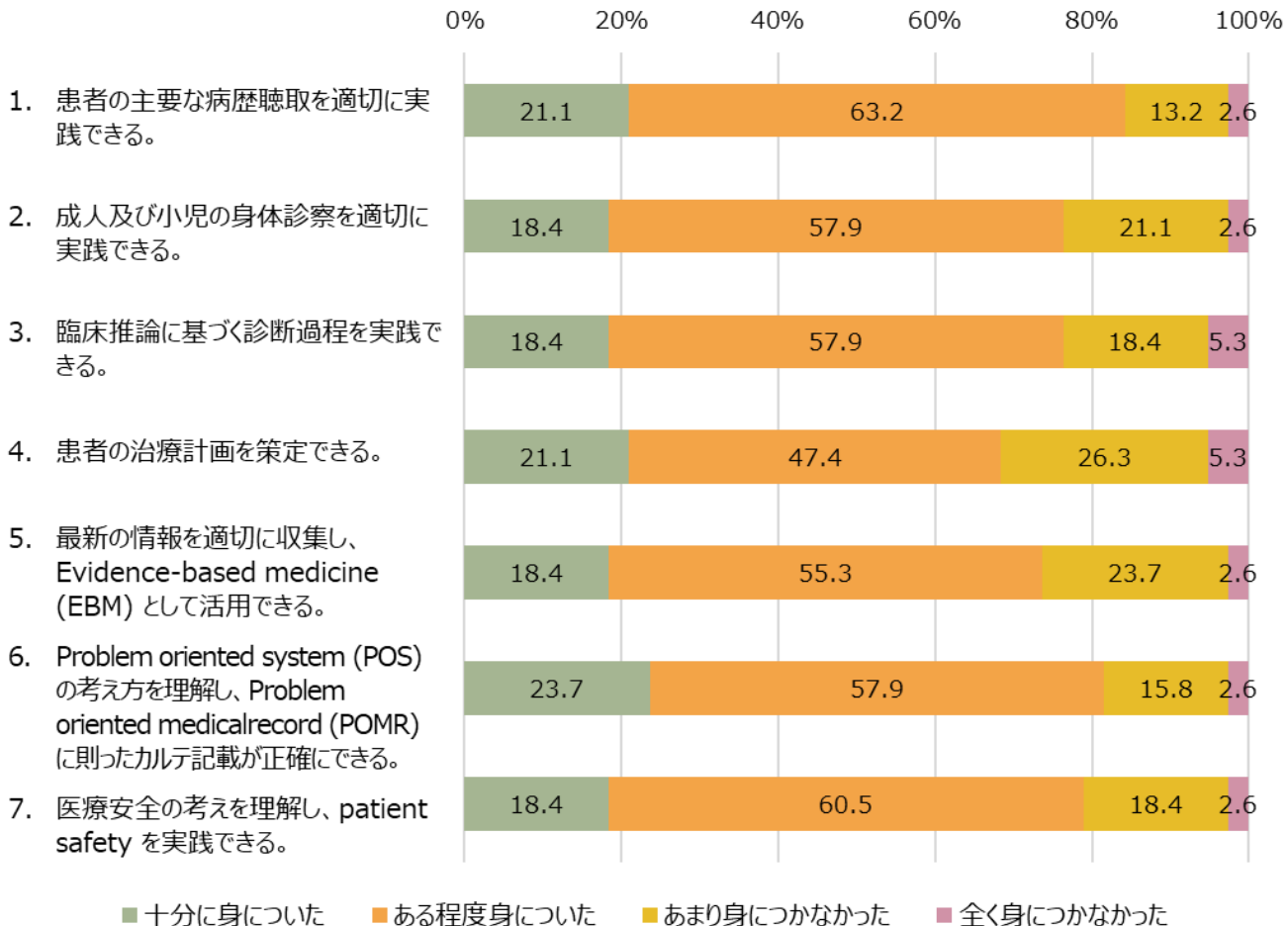
C-II. コミュニケーション能力



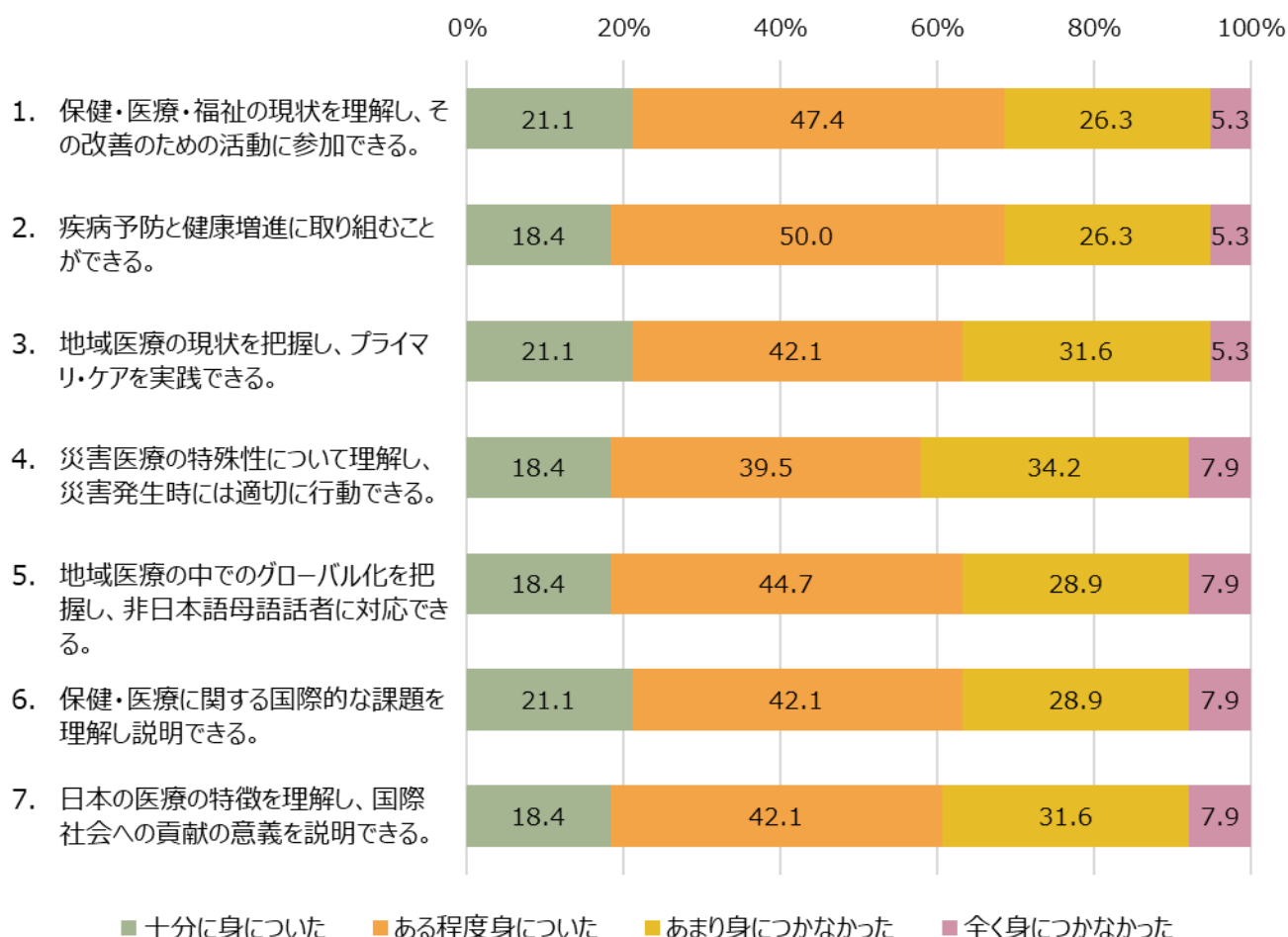
C-Ⅲ. 医学と関連領域の知識



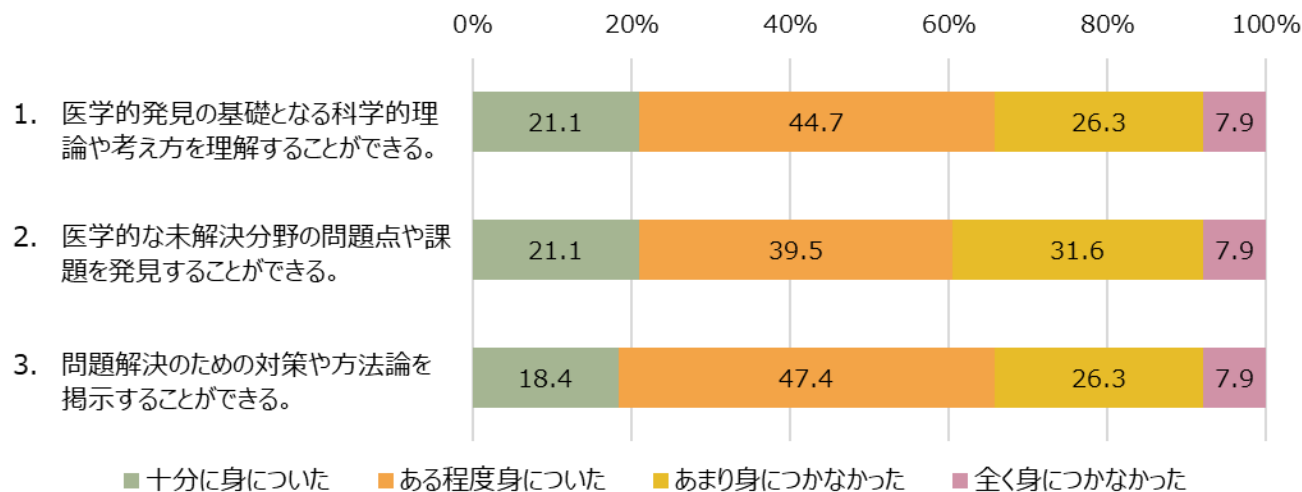
C-Ⅳ. 医療の実践



C-V. グローバル化する社会及び国際社会への貢献



C-VI. 研究マインドの育成



設問D．教育プログラムの評価

以下の卒業時到達目標を修得する上で、本学のカリキュラム（6年間）は適切でしたか。

